

## 2 業種別の状況【平成29年度届出排出量上位3業種】

### (1) 輸送用機械器具製造業（排出量第1位）

#### ア 排出量別事業所数

平成29年度の報告事業所は48事業所であり、排出量別の事業所数は図1-1のとおりでした。排出量上位3事業所で、当該業種の排出量全体の57.2%を占めていました。

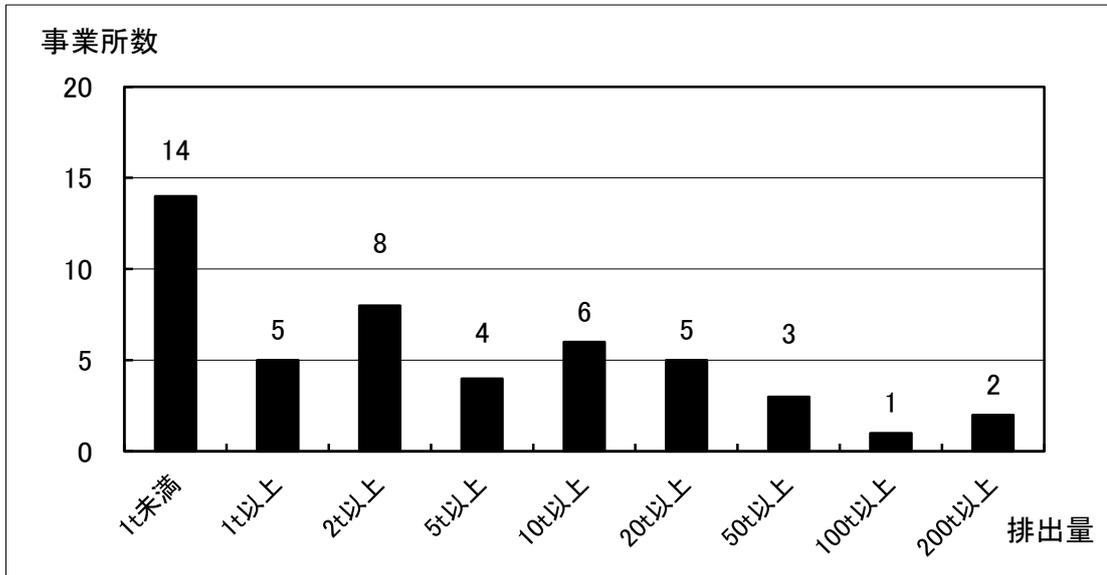


図1-1 排出量別事業所数

#### イ 当該業種が占める割合

輸送用機械器具製造業は、図1-2のとおり、報告を行った全事業所の排出量の45.3%を占めていました。

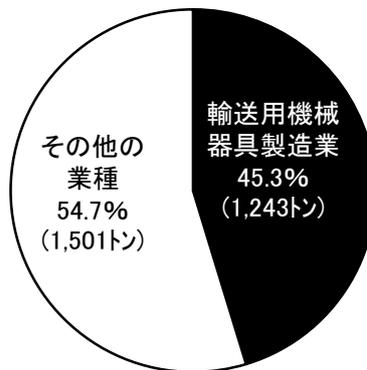


図1-2 排出量（平成28年度）

### ウ 物質別排出量の状況

平成29年度に報告のあった物質数は32物質で、物質別の排出量は図1-3のとおりでした。排出量上位3物質で、当該業種の排出量全体の94.3%を占めていました。

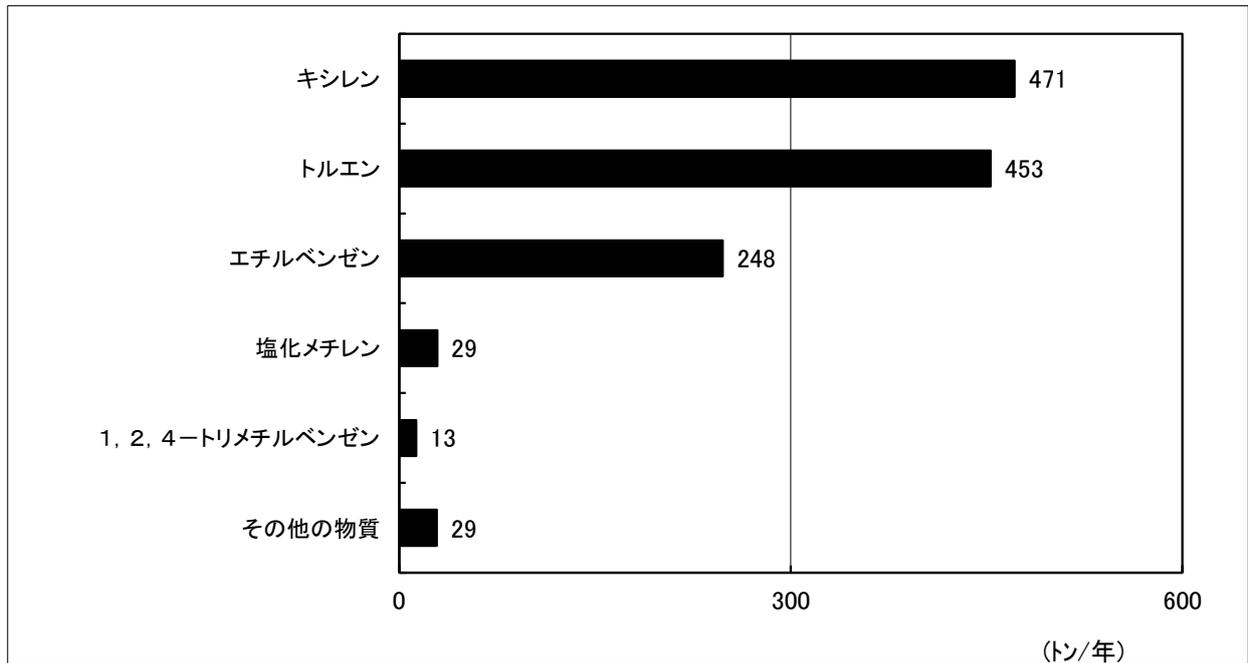


図1-3 物質別排出量

### エ 用途別排出量の状況

平成29年度に報告のあった用途別の排出量は、図1-4のとおりでした。「溶剤、塗料など」が、当該業種の排出量全体の96.3%を占めていました。

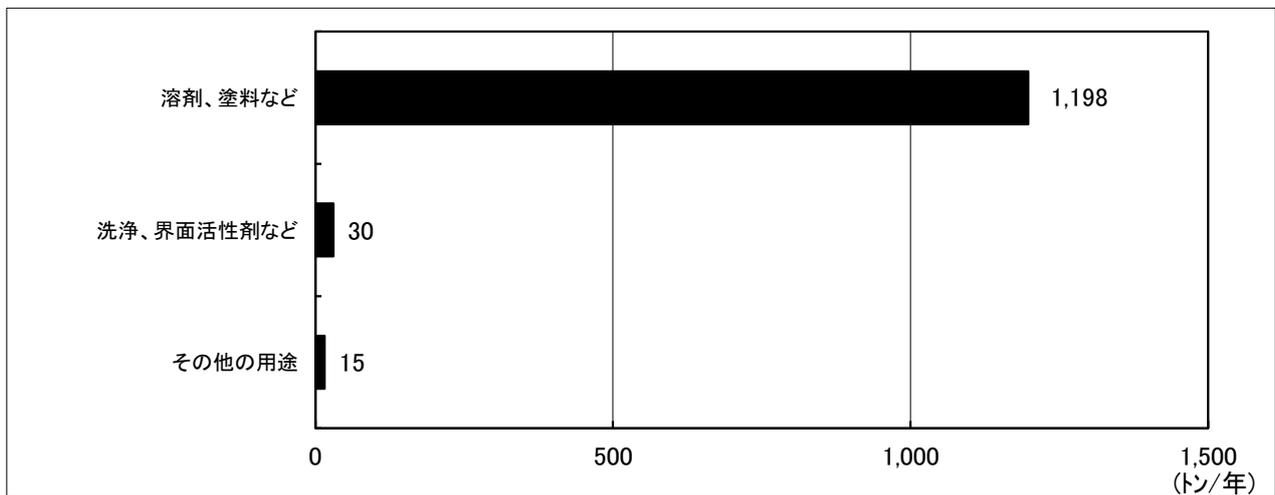


図1-4 用途別排出量

## (2) ゴム製品製造業（排出量第2位）

### ア 排出量別事業所数

平成29年度の報告事業所は8事業所で、排出量別の事業所数は図2-1のとおりでした。排出量上位1事業所で、当該業種の排出量全体の88.9%を占めていました。

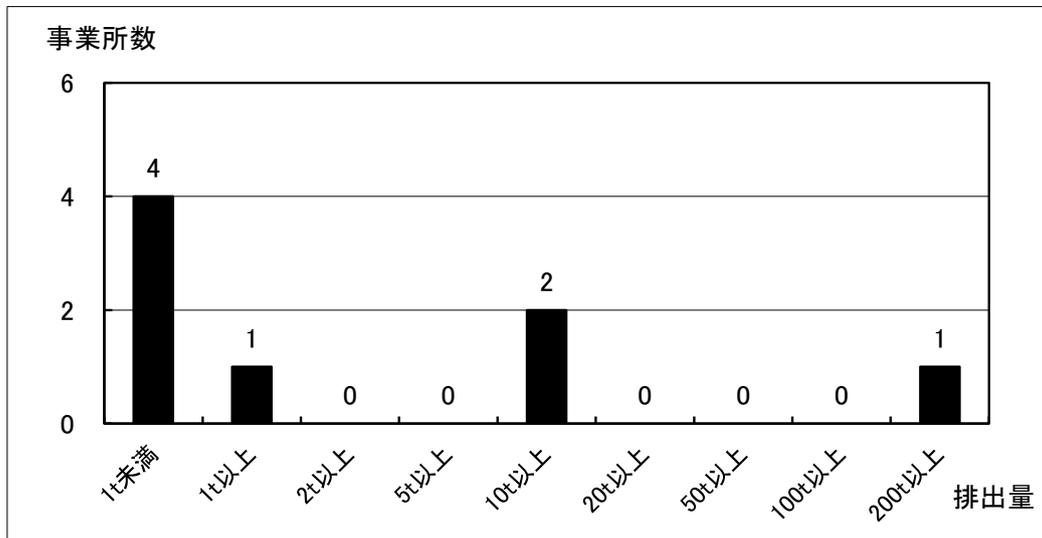


図2-1 排出量別事業所数

### イ 当該業種が占める割合

ゴム製品製造業は、図2-2のとおり、全事業所の排出量の10.2%を占めていました。

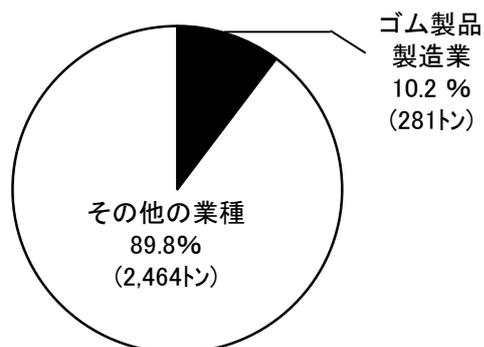


図2-2 排出量（平成28年度）

### ウ 物質別排出量の状況

平成29年度に報告のあった物質数は38物質で、物質別の排出量は図2-3のとおりでした。排出量の最も多いトルエンが、当該業種の排出量全体の89.2%を占めていました。

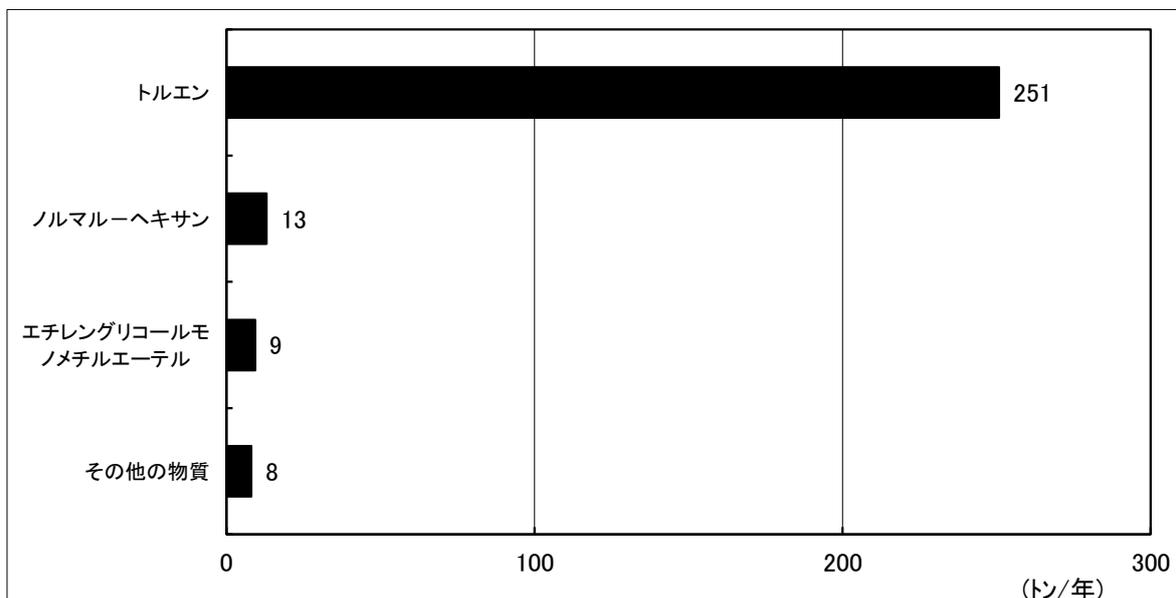


図2-3 物質別排出量

### エ 用途別排出量の状況

平成29年度に報告のあった用途別の排出量は、図2-4のとおりでした。「溶剤、塗料など」が、当該業種の排出量全体の98.1%を占めていました。

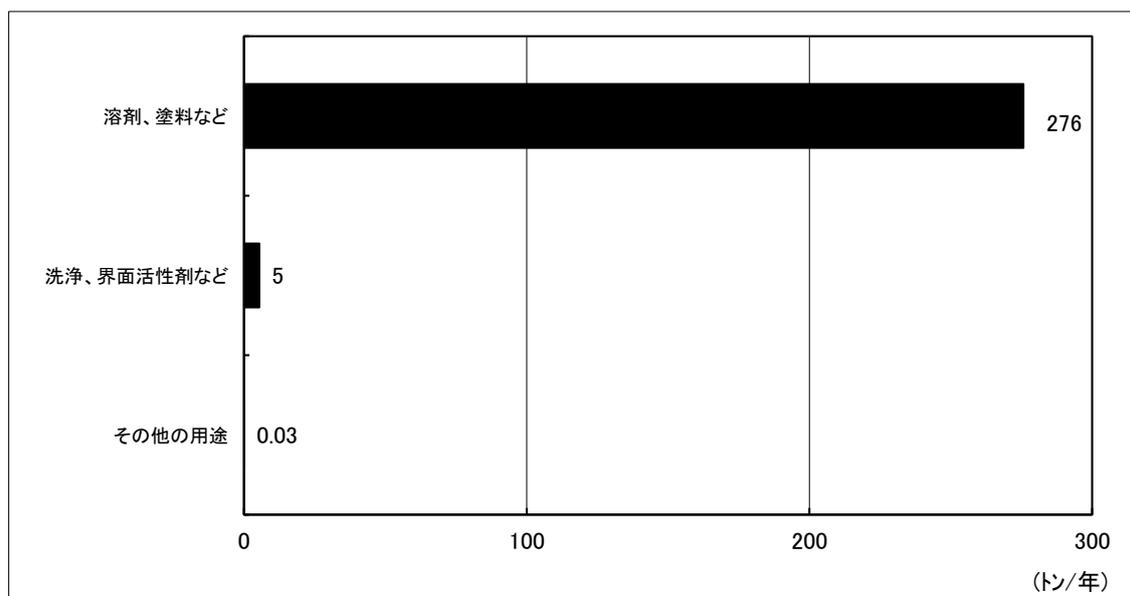


図2-4 用途別排出量

### (3) 船舶製造・修理業、船用機関製造業（排出量第3位）

#### ア 排出量別事業所数

平成29年度の報告事業所は4事業所で、排出量別の事業所数は図3-1のとおりでした。排出量上位1事業所で、当該業種の排出量全体の89.7%を占めていました。

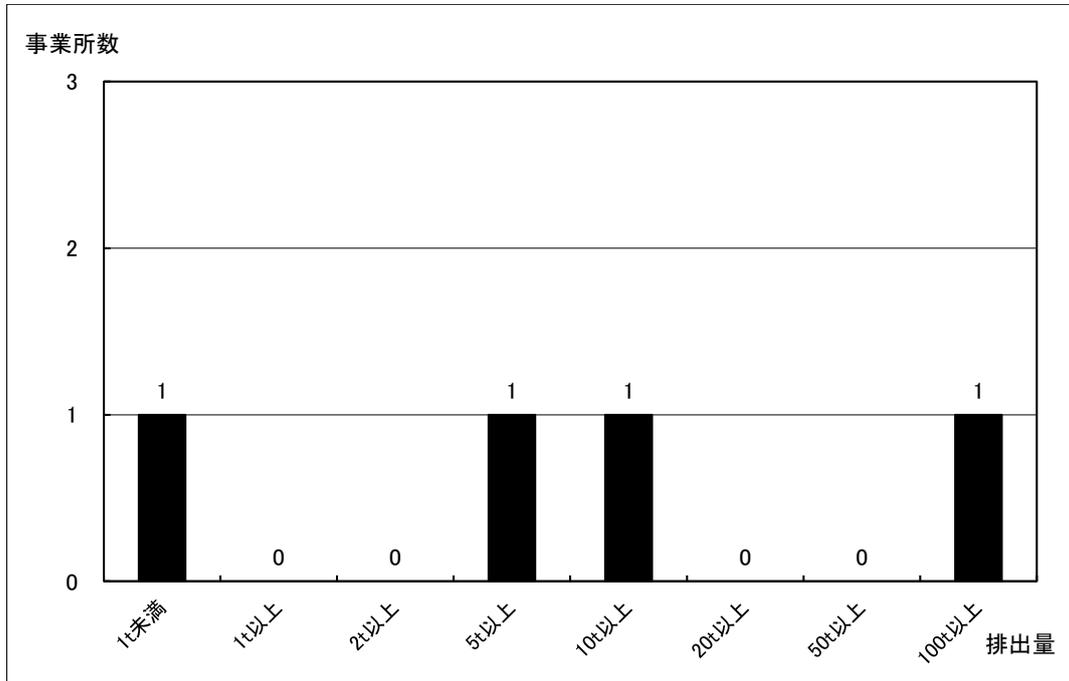


図3-1 排出量別事業所数

#### イ 当該業種が占める割合

船舶製造・修理業、船用機関製造業は、図3-2のとおり、報告を行った全事業所の排出量の8.8%を占めていました。

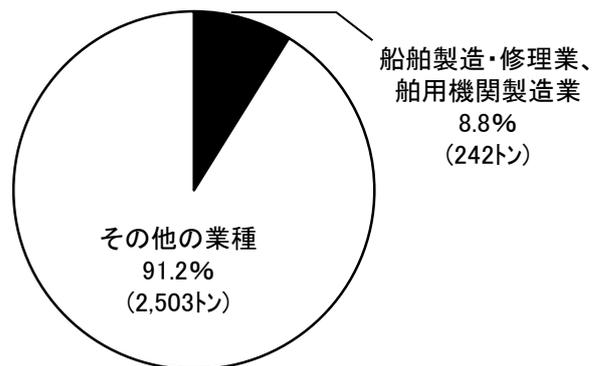


図3-2 排出量（平成28年度）

### ウ 物質別排出量の状況

平成29年度に報告のあった物質数は11物質で、物質別の排出量は図3-3のとおりでした。排出量上位3物質で、当該業種の排出量全体の97.9%を占めていました。

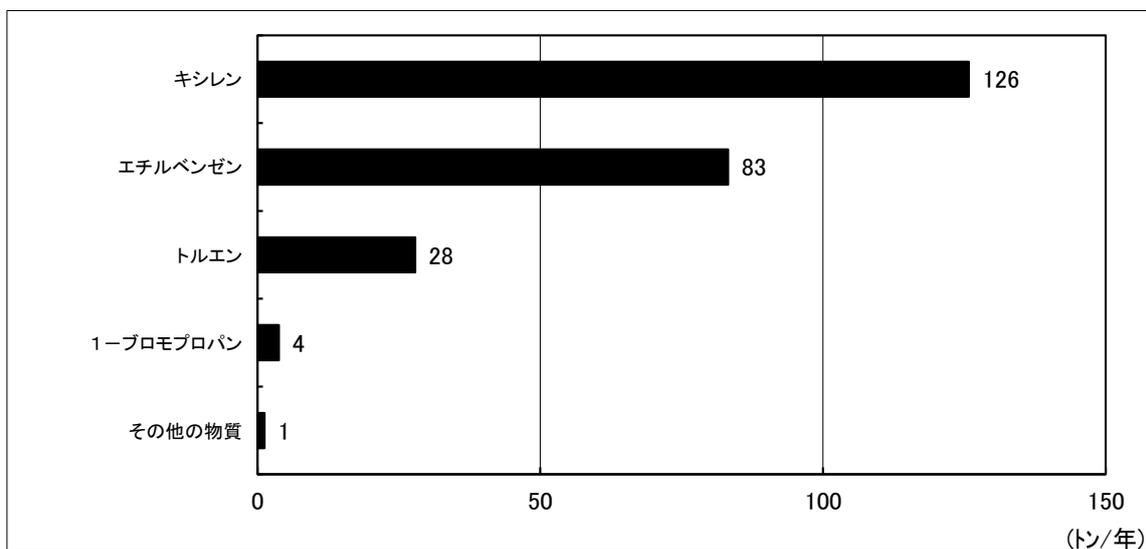


図3-3 物質別排出量

### エ 用途別排出量の状況

平成29年度に報告のあった用途別の排出量は、図3-4のとおりでした。「溶剤、塗料など」が、当該業種の排出量全体の97.9%を占めていました。

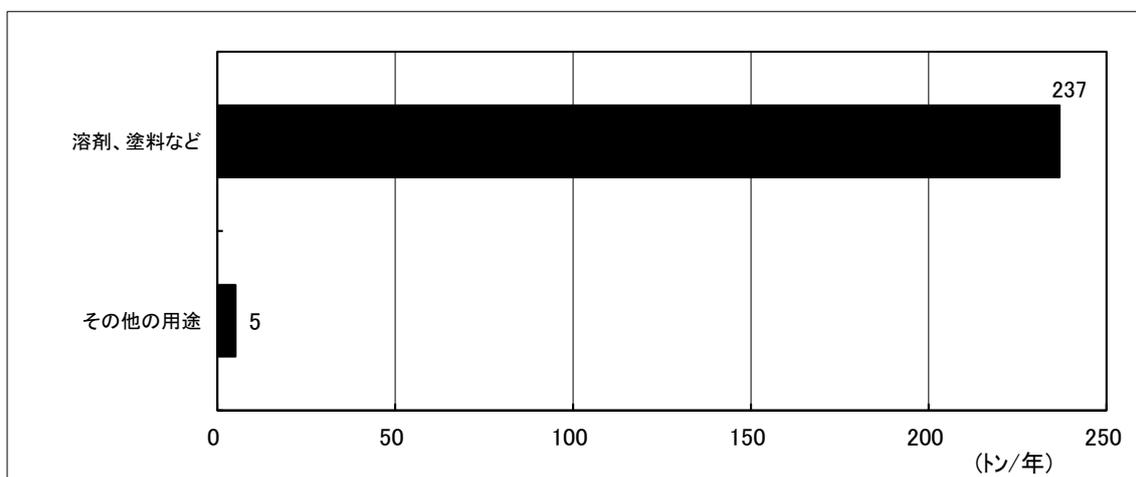


図3-4 用途別排出量